

2025年3月期第2四半期（中間期）

決算説明会
(2024年11月25日)

SHINWA CO.,LTD.

Contents

Chapter
01 | 会社概要

Chapter
02 | 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要

Chapter
03 | 2025年3月期業績見通し

| Chapter 01 |

会社概要

SHINWA CO.,LTD.

企業概要

いのちを守り、 未来を支える。

私たちグループが提供する製品・サービスは、
全て使い手の命や生活に直結しています。

『安心して使える』という価値提供により
命と生活を守るのが、私たちの存在意義です。

価値提供の積み重ねにより、
街が栄え、生活が豊かになり、
ひいては社会全体が永続していくことが
私たちの描く未来です。

商号	信和株式会社
本社	岐阜県海津市
代表者	代表取締役 則武 栗夫
創業	1977年9月
資本金	153百万円
従業員数	143名（2024年3月末現在）
証券コード	3447 （東証スタンダード、名証プレミア）

沿革

- 1977 信和商店として事業を開始
- 1978 仮設資材「ジャッキベース」の製造販売を開始
- 1988 「シンワキャッチャー」を開発、システム足場市場に進出
- 2003 物流機器部門を設立
- 2018 東京証券取引所、名古屋証券取引所に株式を上場
- 2024 大手足場施工会社であるヤグミグループの株式取得

事業内容

売上の7割が仮設資材部門、3割が物流機器部門

仮設資材部門

● 事業内容

- ◆ 建設現場などで使用される仮設資材の製造・販売・レンタル
- ◆ 仮設資材（主に足場）の施工サービス

● 特徴

- ◆ システム足場の**国内シェアNO.1**
- ◆ **国内自社工場**による**高品質な足場**
- ◆ 低層から超高層建築物まで対応可能

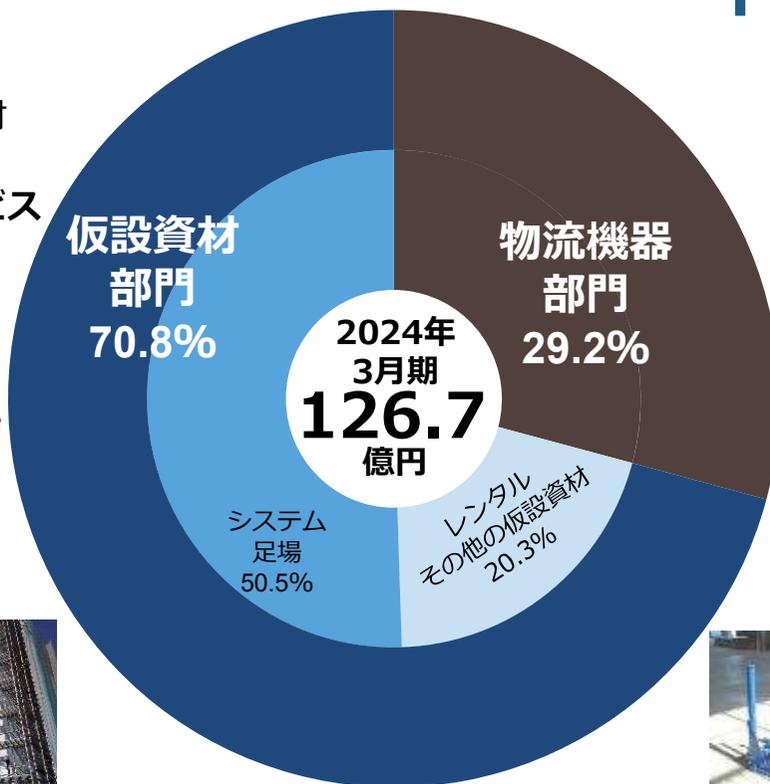


住宅工事



マンション工事

SHINWA CO., LTD.



物流機器部門

● 事業内容

- ◆ 搬送等に使用される物流機器の製造・販売
- ◆ 工場・倉庫・建設現場等での物品の保管用機器の製造・販売

● 特徴

- ◆ 提案・設計・製造・設置・メンテナンスまで**一貫したサービスを提供**
- ◆ **幅広い業種**に様々な物流機器製品の**納入実績**



自動車メーカー向けパレット



液体搬送用バルクコンテナケージ

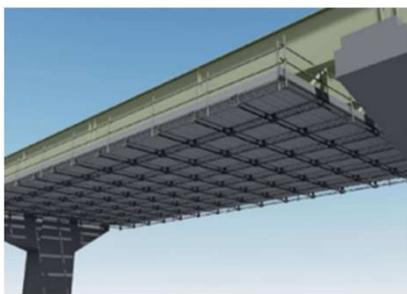


大規模倉庫用ラック

パーパスにむけた取り組み

橋梁用システム吊り足場

政府による国土強靱化計画に沿った製品。橋梁の老朽化が急速に進む中、増加する点検補修需要に応える。



足場の機能強化

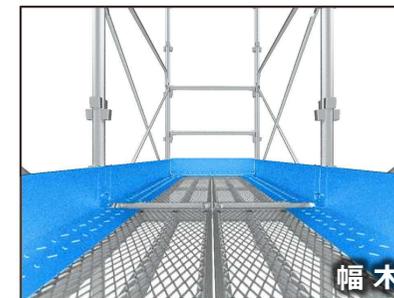
抜け止め機能により安全性をさらに向上。低騒音施工を可能にした設計で居住地域などの周辺環境にも配慮。



SHINWA CO.,LTD.

安全措置資材の開発

トップシェアのノウハウを活かした「安全措置資材」の開発。人の墜落、物の落下を防ぎ、安全性を高める。



軽量化の取り組み

建設就業者の高齢化が進む中、軽量化による作業負荷軽減を通じて安全性と生産性を高める。重量減による輸送効率の向上にも寄与。



Copyright© Shinwa Co., Ltd. All rights reserved.

| Chapter 02 |

2025年3月期
第2四半期（中間期）決算概要

SHINWA CO.,LTD.

2025年3月期第2四半期（中間期） 決算ハイライト

売上収益

8,542百万円（前年同期比+29.0%）

主にくさび緊結式足場の顧客である足場施工会社では、資材をはじめとして全体的なコストが増加する中、資材の購入を控えレンタルで調達する動きが継続したものの、柔軟な営業提案を武器にくさび緊結式足場の売上収益の獲得に注力。またヤグミグループを子会社化したことにより、仮設施工工事の売上収益が貢献したことに加え、事業統合を進めることによりサービス取引チャネルの拡大を通じた収益機会が拡大。

売上総利益

2,237百万円（前年同期比+52.5%）

売上収益伸長及びレンタル事業への投資を加速させるべくレンタル資産の減価償却期間を変更したことから、減価償却費が減少したこと、及びコスト削減効果も寄与し、売上総利益額が増加。売上総利益率は前年同期比 4.0ポイント増の26.2%

営業利益

871百万円（前年同期比+67.4 %）

売上総利益額の増加、及び継続的な経費削減への取り組みにより営業利益額も増加。営業利益率は前年同期比 2.3ポイント増の10.4%

中間利益(※)

530百万円（前年同期比+56.0%）

中間の利益率は前年同期比 1.1ポイント増の6.2%

※親会社の所有者に帰属する中間利益
中間の利益率(%) = 親会社株主に帰属する中間利益 ÷ 売上収益 × 100

トピックス

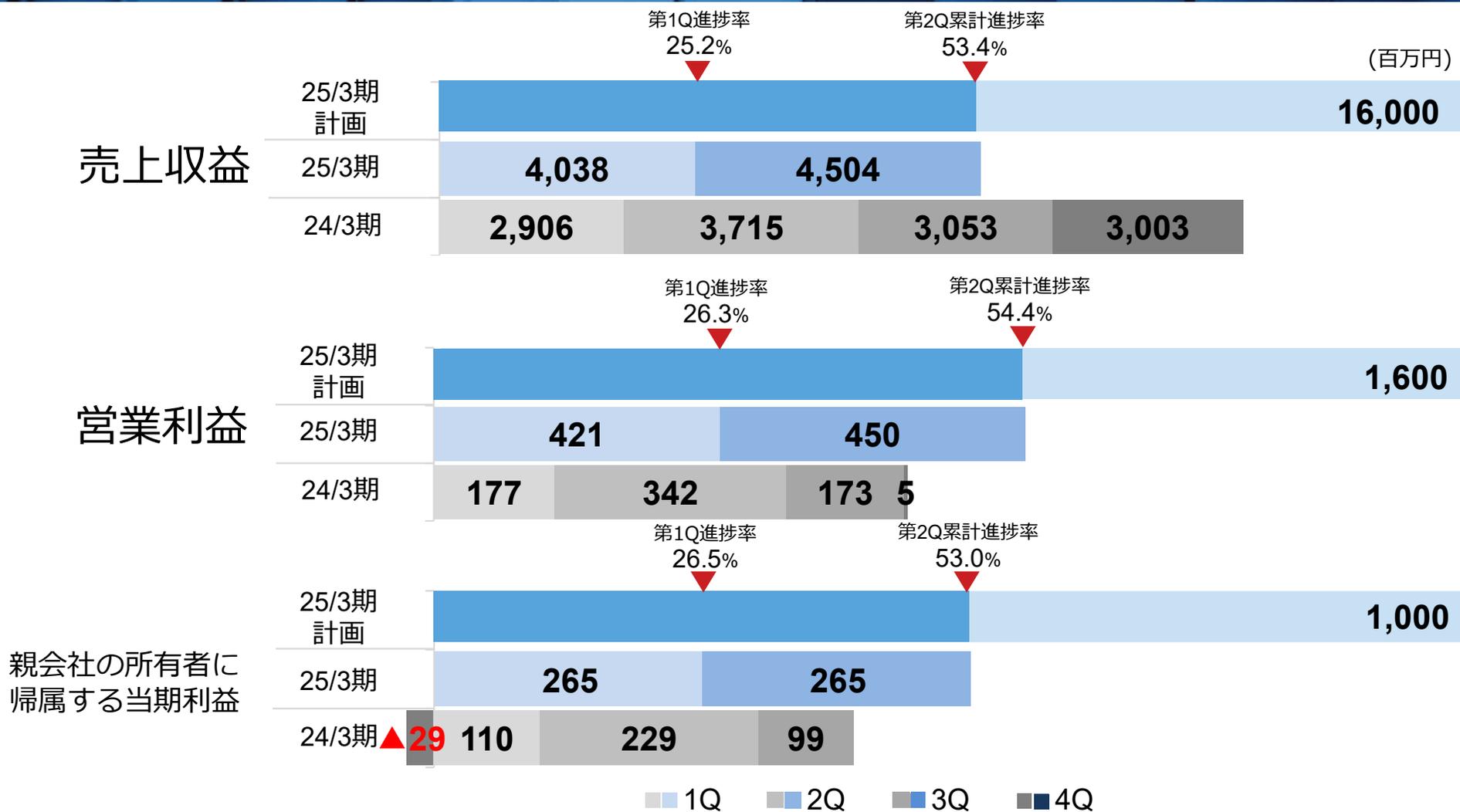
- 2024年4月1日 ヤグミグループの株式の取得（子会社化）
- 2024年7月30日 海津市との包括連携協定を締結
- 2024年9月6・7日 名証IR EXPO2024に出展

2025年3月期第2四半期 連結業績

(IFRS・百万円)

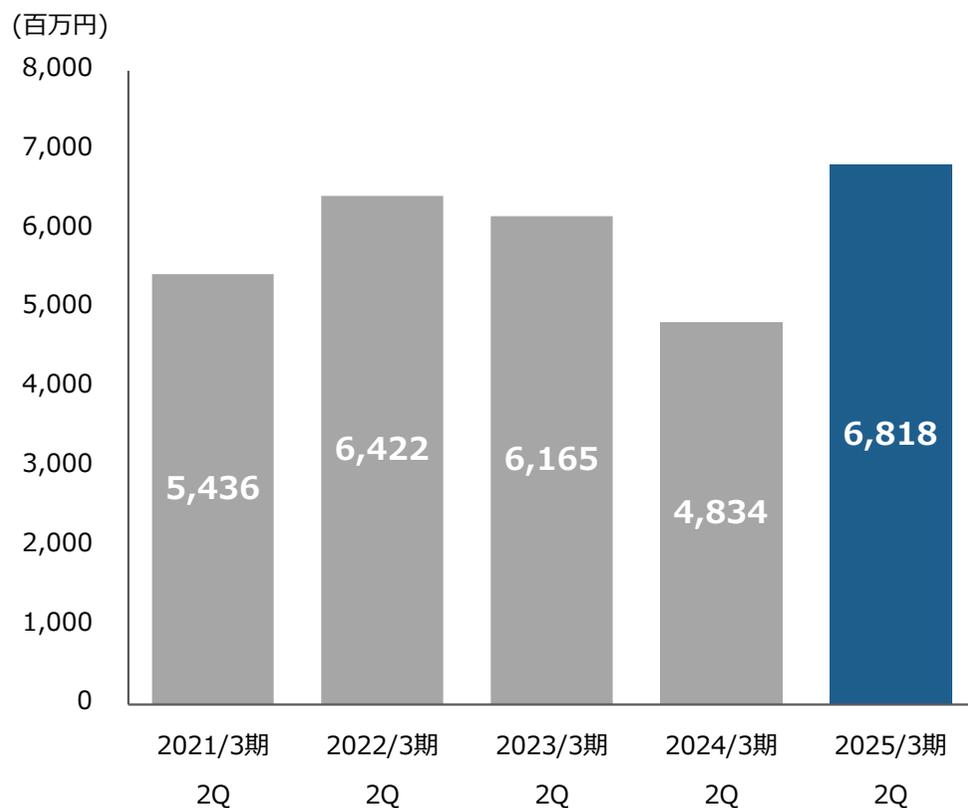
	2023.3月期 2Q	2024.3月期 2Q	2025.3月期 2Q			
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	計画 (売上比)	実績 (売上比)	計画比 増減額 (増減率)	前期比 増減額 (増減率)
売上収益	8,909	6,621	6,647	8,542	+1,895 (+28.5%)	+1,920 (+29.0%)
仮設資材部門	6,165 (69.2%)	4,834 (73.0%)	5,062 (76.2%)	6,818 (79.8%)	+1,505 (+28.3%)	+1,984 (+41.0%)
物流機器部門	2,743 (30.8%)	1,787 (27.0%)	1,334 (20.1%)	1,724 (20.2%)	+390 (+29.2%)	▲63 (▲3.5%)
売上総利益	2,150 (24.1%)	1,467 (22.2%)	- (-%)	2,237 (26.2%)	-	+770 (+52.5%)
販管費等	1,037 (11.6%)	946 (14.3%)	- (-%)	1,366 (16.0%)	-	+422 (+44.7%)
営業利益	1,113 (12.5%)	520 (7.9%)	495 (7.4%)	871 (10.2%)	+376 (+76.0%)	+351 (+67.4%)
親会社の所有者に 帰属する中間利益	744 (8.4%)	339 (5.1%)	296 (4.5%)	530 (6.2%)	+234 (+79.1%)	+190 (+56.0%)

2025年3月期 四半期累計推移



部門別の状況／仮設資材部門

売上収益の推移



当期連結累計期間の状況

- 仮設資材に対する需要は堅調であるものの、資材価格の高止まり、製品価格の高騰により、仮設資材をレンタルで調達する流れが継続
- 販売とレンタル双方の強みを組み合わせた販売手法や、次世代足場におけるレンタル注力など、機動的かつ柔軟な営業活動に注力
- 本年4月に子会社化したヤグミグループにおいては、堅調な工事需要に対し、豊富な人材力で着実に案件を獲得



売上収益6,818百万円
前年同期比41.0%増となった。

TOPICS ヤグミグループの株式を取得により子会社化

会社概要

商号	株式会社ヤグミ
本社	愛知県一宮市
代表者	代表取締役 鬼頭 和也
創業	2000年9月
事業内容	足場施工及びその他周辺サービス
資本金	30百万円
従業員数	130名

沿革

- 2000 有限会社ヤグミを創業
- 2006 株式会社ヤグミに形態変更
- 2011 経年仮設機材管理基準適用工場に指定
- 2019 ISO45001:2018（労働安全衛生マネジメントシステム）の認証を取得
- 2020 健康経営優良法人を取得
- 2021 ホワイト企業認定「プラチナ」取得



事業領域の拡大

サービス拡充とチャネル拡大で収益向上

商品開発力

現場のニーズをリアルタイムに把握できることで
商品開発のアイデアを速やかに展開

シナジー創出

互いの強みを引き出しあい
グループ全体のパフォーマンスを向上

レンタル資産の償却期間の変更

レンタル投資を加速すべく、レンタル資産の減価償却期間の見直しを実施

背景

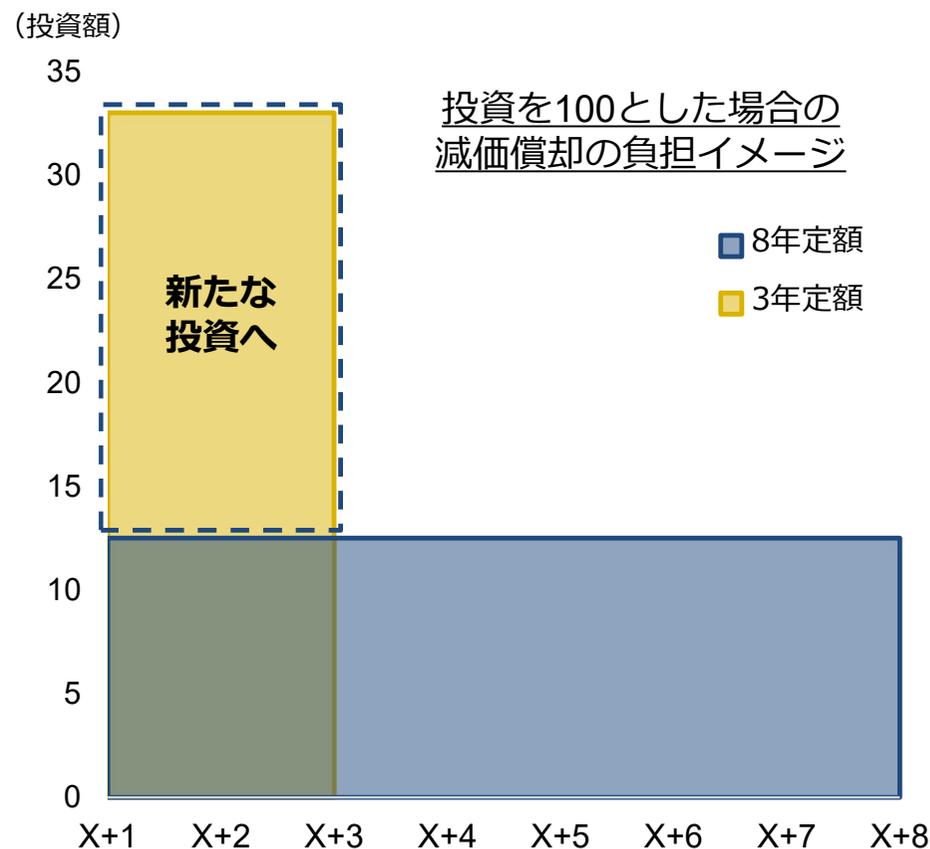
レンタル事業の強化

変更点

減価償却期間
3年 → 8年

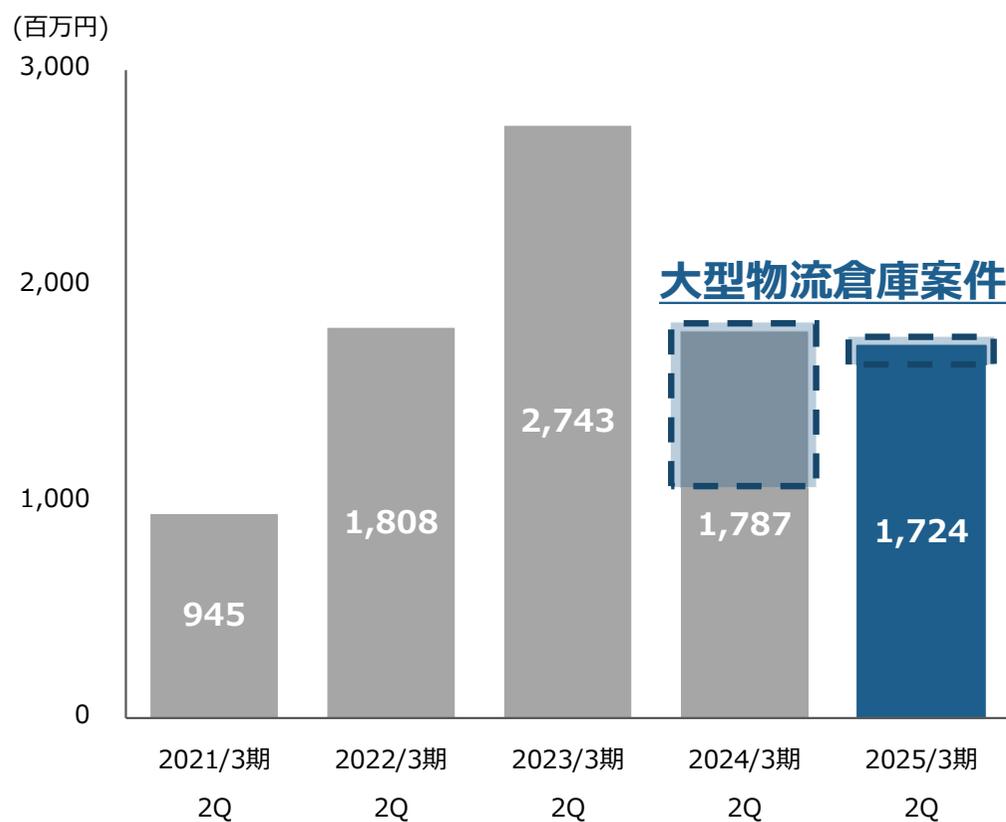
効果

レンタル投資を加速



部門別の状況 / 物流機器部門

売上収益の推移



当期累計期間の状況

- 前年同期のような大型物流倉庫案件は発生しなかったものの、自動倉庫や官公庁など幅広い業界から多くの案件を獲得
- 加えて、液体搬送用バルクコンテナケース等のリピート案件を安定的に受注

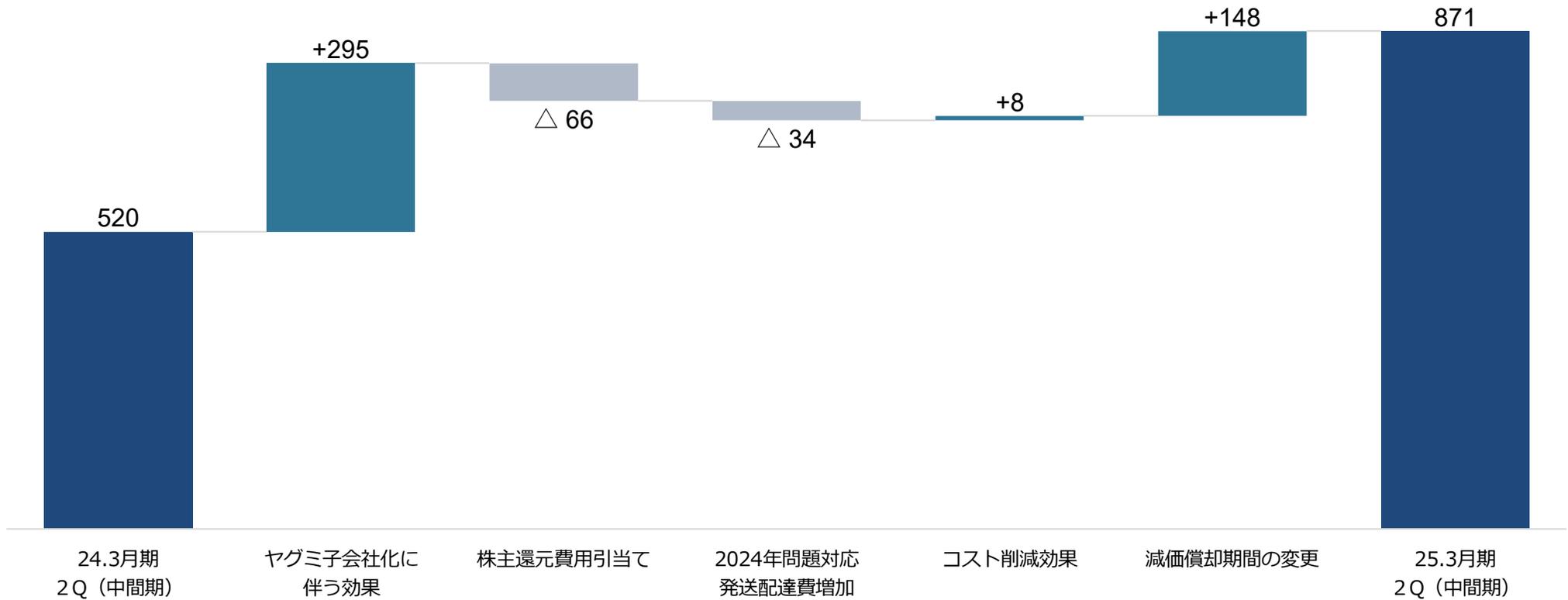


**売上収益1,724百万円
前年同期比3.5%減となった。**

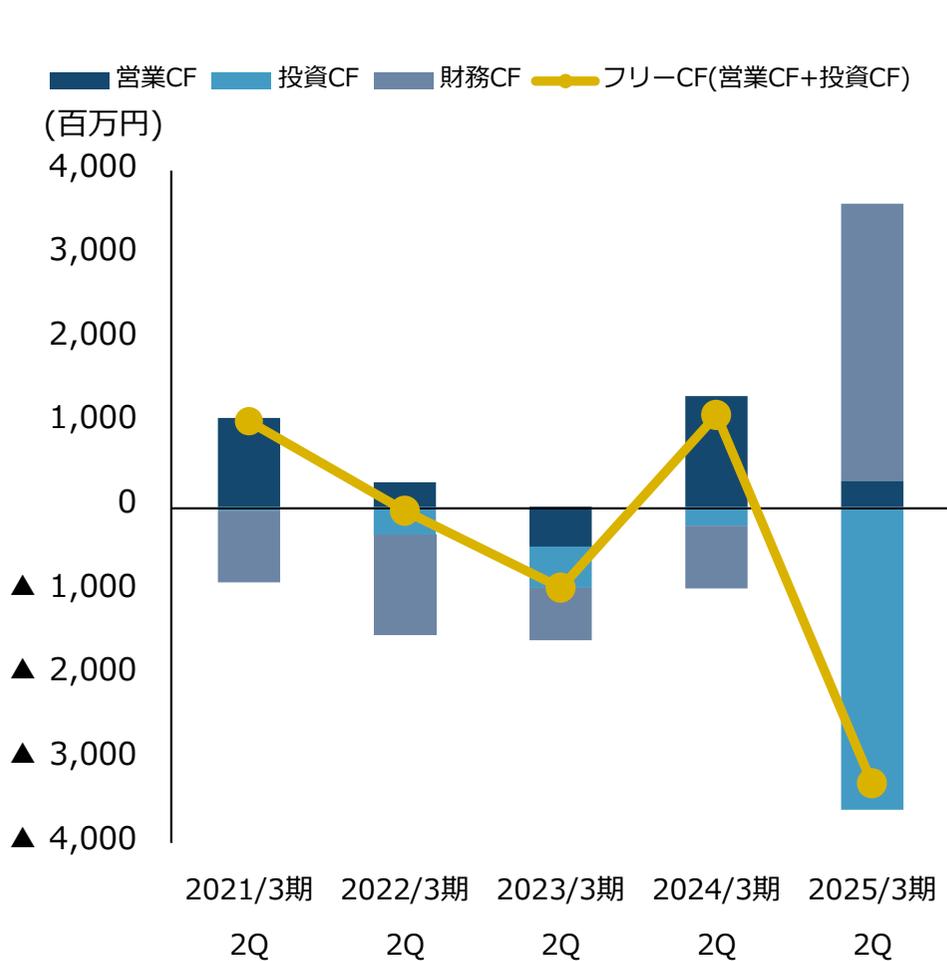
営業利益増減要因

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

(百万円)



キャッシュ・フロー計算書増減要因



営業キャッシュフロー

(百万円)
+312

税引前中間利益	+815
減価償却費及び償却費	+238
棚卸資産の減少	+478
営業債権及びその他の債権の増加	▲890
営業債務及びその他の債務の減少	▲365

投資キャッシュフロー

▲3,605

連結の範囲の変更に伴う 子会社株式の取得による支出	▲2,631
有形固定資産の取得による支出	▲961

財務キャッシュフロー

+3,295

長期借入金の借入による収入	+3,900
配当金の支出	▲222

| Chapter 03 |

2025年3月期 業績見通し

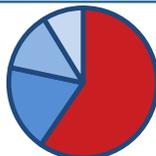
SHINWA CO.,LTD.

仮設資材を取り巻く環境と今後のニーズ

リフォーム需要、安全意識の高まり、技能者不足は追い風環境

環境変化

築20年を超える住宅が過半を占める

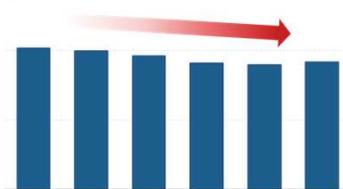


社会資本※の老朽化



建設現場の人材不足

技能を持った職人の減少



法改正・安全衛生規則の改正

想定されるニーズ

維持修繕工事
需要が増加

より安全に配慮した
足場の需要が増加

省人化・
組立の容易化の需要が
増加

信和の強み

高品質で
安全性・施工性の高い
システム足場

市場や社会のニーズに
迅速に応える商品開発

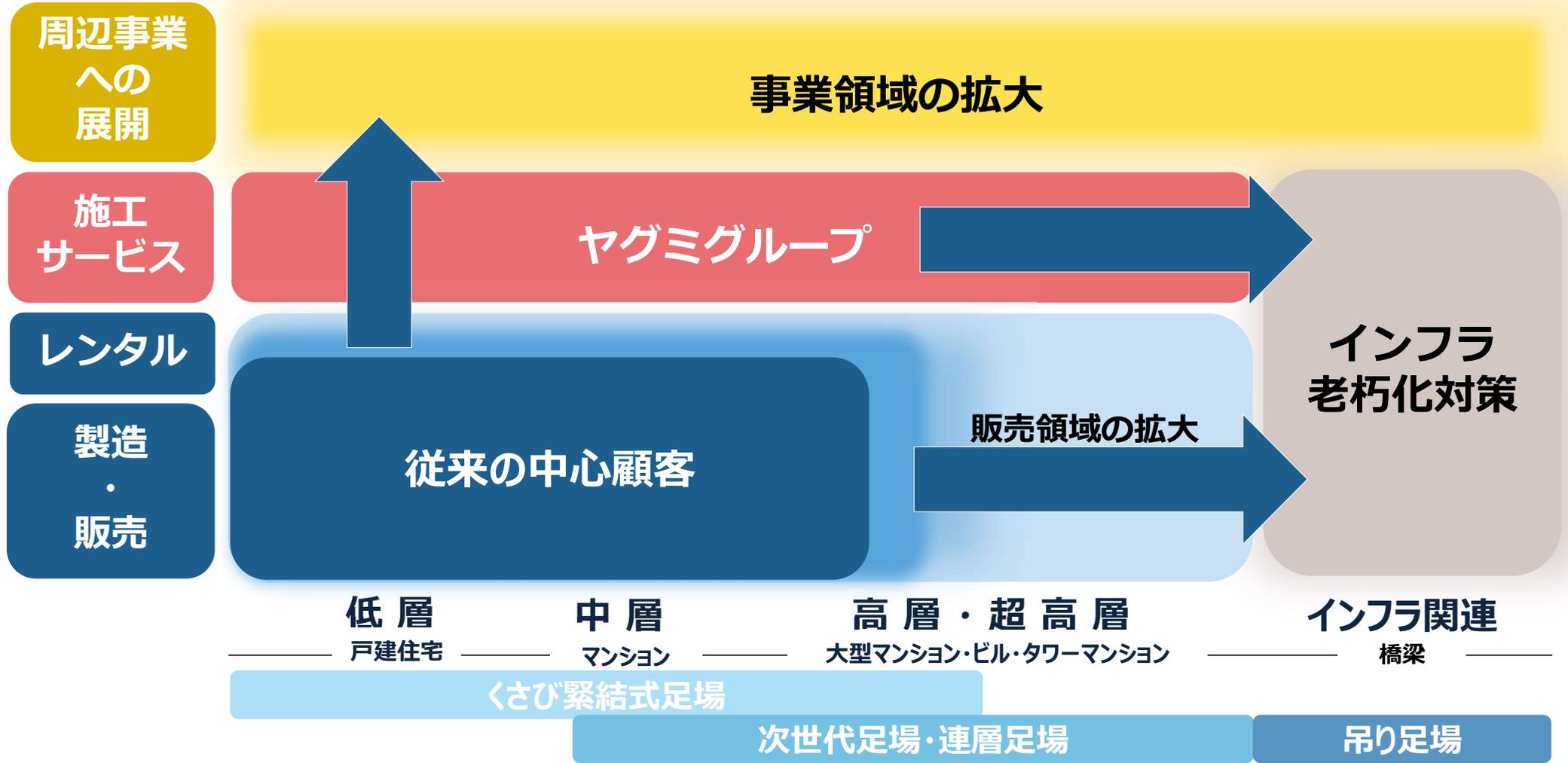
製造から施工まで
一貫したサービスを提供

※道路、港湾、水道、公園、通信、空港、ダムなど、国や自治体などの公的機関によって形成されてきた社会資本の量

SHINWA CO.,LTD.

Copyright© Shinwa Co., Ltd. All rights reserved.

仮設資材事業における戦略の全体像

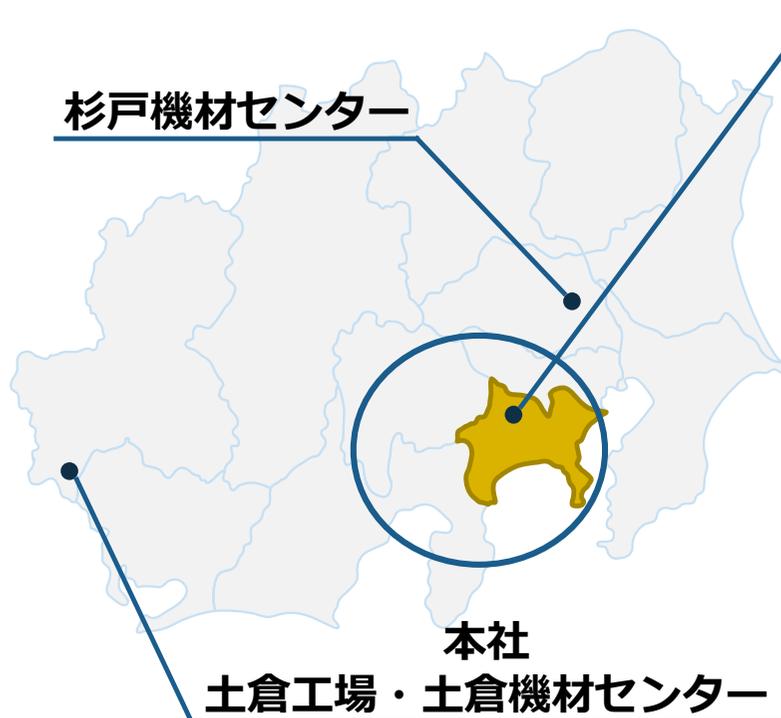


TOPICS 相模原機材センター開所

既存拠点と連携し関東広域の多くのお客様に対して利便性を高め、一層のサービス向上に努める。

新拠点 相模原機材センター

南関東を中心とした**都市再開発**や**インフラ整備**に伴う建設需要に応えるため、**安定的かつ豊富な**資材供給を実現する重要な拠点となる。



物流機器部門の成長

従来の顧客の深耕に加え、幅広い業種に展開し更なる成長を目指す。

メッシュパレット



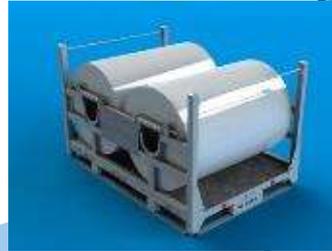
輸送
機器

エンジン、トランスミッション等
の搬送用パレット



自動車
部品

ガラス搬送用パレット
機能性フィルムパレット



電機
・
精密



液体搬送バルクコンテナケージ



化学

物流
・
倉庫



自動倉庫用パレット
大規模倉庫用ラック

農業
・
水産

人工光型植物工場向け多段棚



物流機器部門の新領域進出



省人化分野

AGV(無人搬送機器)などの取扱・コンサル事業へ参入。
倉庫業務の省人化ニーズを捉える。



海外展開

海外への物流機器納入実績を活かし、
さらなる製品・サービス提供体制を整える。



未経験業界への積極的な挑戦

特殊な物品等の輸送・保管ニーズを見だし、
新たな価値提供を通じて、事業領域を広げ続ける。

2025年3月期 通期連結業績予想

(IFRS・百万円)

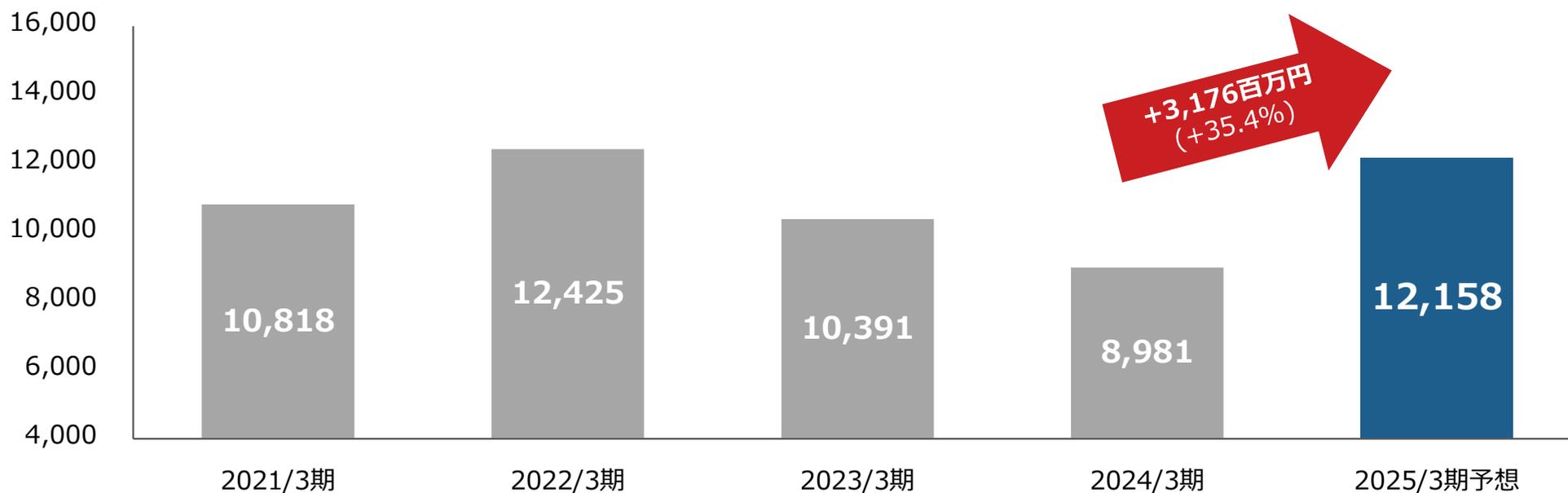
	2022.3月期	2023.3月期	2024.3月期	2025.3月期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	予想 (売上比)	前期比 増減額 (増減率)
売上収益	16,063	14,757	12,678	16,000	+3,321 (+26.2%)
営業利益	2,135 (13.3%)	1,501 (10.2%)	700 (5.5%)	1,600 (10.0%)	+899 (+128.5%)
税引前利益	2,063 (12.8%)	1,434 (9.7%)	652 (5.1%)	1,494 (9.3%)	+841 (+129.0%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,452 (9.0%)	1,007 (6.8%)	409 (3.2%)	1,000 (6.3%)	+590 (+144.1%)
基本的1株当たり 当期利益(円)	105.36	72.49	29.46	71.91	+42.45
1株当たり 年間配当金 (円)	43.0	32.0	32.0	32.0	—

業績見通し 仮設資材部門

既存のくさび緊結式足場、次世代足場及び安全措置資材などの需要は、一定水準以上が継続。
加えて、インフラ関連製品の拡販、高付加価値製品及びサービスの開発と普及促進、ヤグミグループによる仮設資材の施工サービスが収益貢献

売上収益の見通し

(百万円)

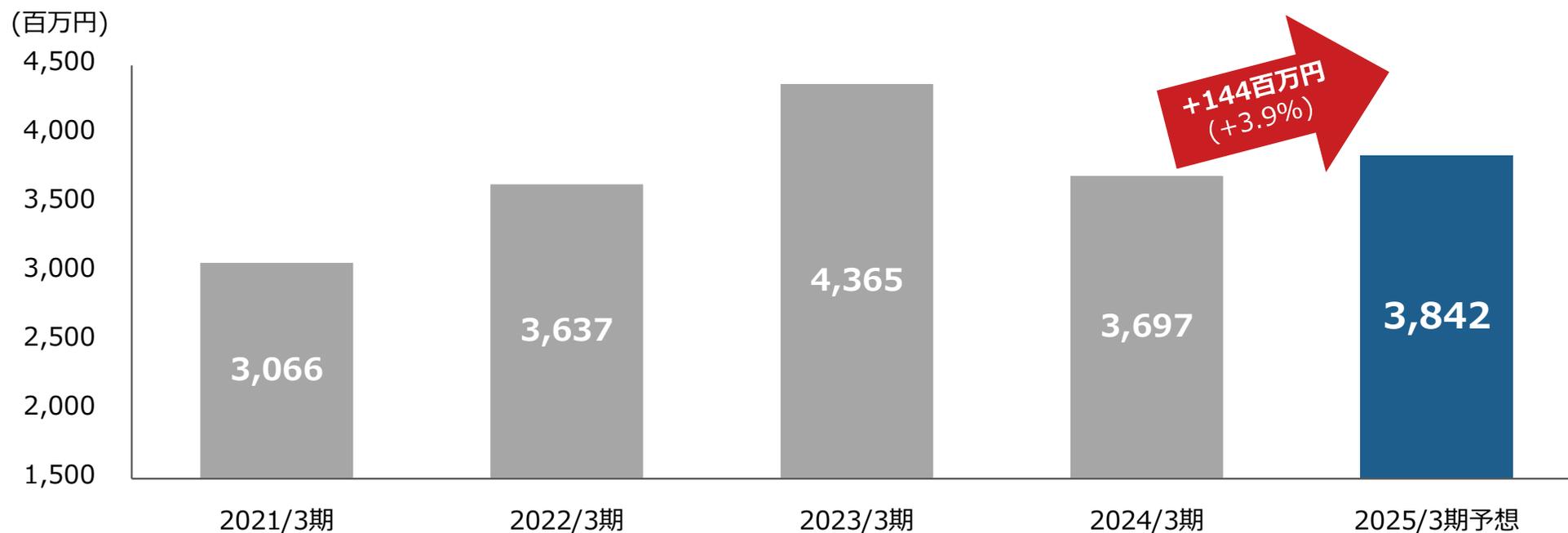


業績見通し 物流機器部門

大型物流倉庫案件は2024/03期より減少を見込むものの、液体搬送用バルクコンテナ、自動車部品用パレットなどは引き続き堅調。

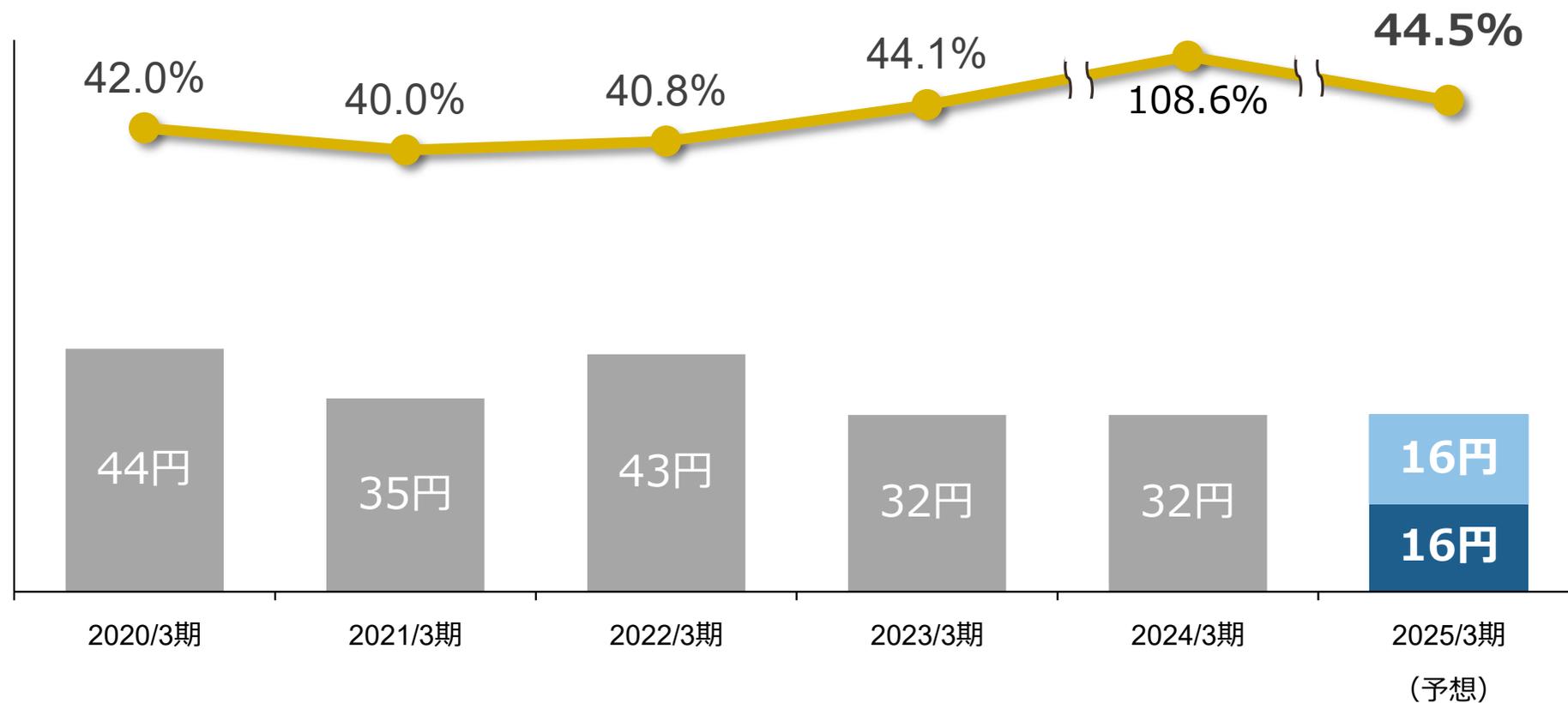
加えて、電気機器向け資材搬送用パレットを見込むほか、幅広い分野での新規案件の拡販に取り組む

売上収益の見通し

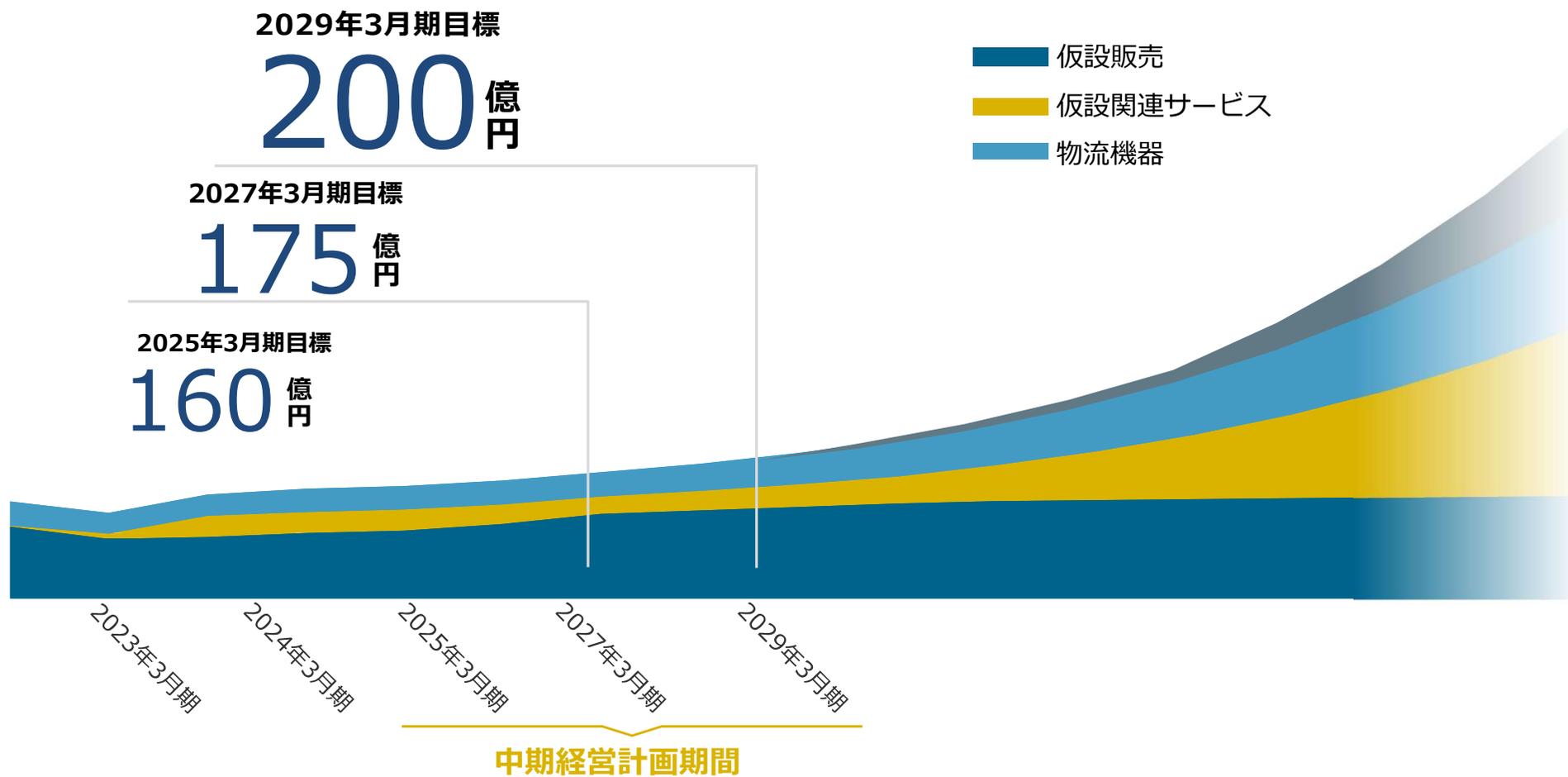


配当の実施状況

1株当たり配当金は、中間配当16円と期末配当16円を合わせて、通期32円を株主に還元予定



中期経営計画における目標



注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

信和株式会社

岐阜県海津市平田町仏師川30-7

部 署 — 経営企画部

T E L — 0584-66-4436

e-mail — ir@shinwa-jp.com